



主催 公益社団法人日本サインデザイン協会
協力 公益財団法人日本デザイン振興会
後援 日本デザイン学会
日本サイン学会
会場 東京ミッドタウンタワー 5階
デザインハブ・リエゾンセンター
(東京都港区赤坂 9-7-1)
日時 2013年10月15日(火曜日)
15時~18時30分
懇親会 同日 19時~20時
参加費 フォーラム/2,000円
懇親会/3,000円
問合せ 公益社団法人日本サインデザイン協会
tel: 03-3818-8537
mail: sda@sign.or.jp

IID
International Institute
for Information Design
オーストリアのウィーンを活動の拠点とするインフォメーションデザインに関する国際的な組織で、交通関連のデザイナー、交通事業者及び学識経験者で構成され、会員はヨーロッパを中心に世界中で約500名の会員を有しています。

SDA 国際デザインフォーラム 交通モビリティーと情報のデザイン

公益社団法人日本サインデザイン協会では、欧州のデザイン団体IID(International Institute for Information Design)のメンバーを迎えて、下記のとおり国際フォーラムを開催いたします。国際化と多様化の中で、今後さらに充実が望まれる「Traffic & Transport Information Design — 交通施設と情報のデザイン」をテーマに、欧州と日本の専門家が最新の成果を発表し、議論を深めます。多くの皆様の参加をお願いいたします。

presentation 1

統一言語としてのサイン計画／Giuseppe Attoma

presentation 2

渋谷駅—交通結節駅における案内サインシステム／竹内誠

presentation 3

英国チェスター鉄道のインフォメーションデザイン／Alex Nelson

presentation 4

鉄道車両デザインの視点／若尾講介

presentation 5

公共交通の車両ドアのインフォメーションデザイン／Olaf Hoffmann

presentation 6

外国語自動放送システム／伊藤俊

presentation 7

ウイーン・マリアヒルファー通りのモビリティデザイン

／Martin Foessleitner

presentation 8

Bosch Tassimo のインターフェイスデザイン

／Wolfgang Peghini

presentation 1

統一言語としてのサイン計画
Are you talking to me?
Signage as a language.

都市の移動情報には、多くの異なったルートが複雑に錯綜しています。5つの地下鉄と3つの地域鉄道が乗り入れ、毎日8万人が利用するパリ・シャトレ・レアル駅の革新的な情報システムについて発表します。

Giuseppe Attoma / フランス

イタリア・ジェノバ出身。情報工学と建築デザインを学び、現在は情報デザインとインターラクションデザインが専門。フランスの交通とモビリティの第一人者。IID 役員。

presentation 2

渋谷駅—交通結節駅における案内サインシステム

渋谷駅は4つの鉄道会社の9つの路線が結節し、3つのバスターミナルを合わせ持つ国内最大級の拠点駅です。統一的な案内サインシステムやバリアフリー動線など、コンセプトから、計画実施までを発表します。

竹内誠 / 株式会社竹内デザイン代表取締役
黎インダストリアル・デザイン事務所にて鉄道サイン計画に多数従事。大阪ステーションシティ、東急電鉄のサインマニュアルなどを制作。

presentation 3

英国チェスター鉄道のインフォメーションデザイン
CHESTER-LE-TRACK
- Ideas Above Its Station

チェスター鉄道は英国北部のチェスター（人口25,000人）で営業をしている会社です。英国内約2,500の駅をネットワークする独自の路線図や、バスとの接続地図、使いやすい発券システムなどについて発表します。

Alex Nelson / イギリス

IID および英国サインデザイン協会会員。英國鉄道網のアニメーションマップの功績により、英國王立地理協会のフェローシップを授与されている。

presentation 4

鉄道車両デザインの視点

鉄道車両は地域において極めて象徴的な存在です。安全快適に運ぶことに加え、ひとを楽しませ、記憶に残る独自のスタイルをデザインすることが重要です。車両デザインを進める際の視点を発表します。

若尾講介

／株式会社 GK インダストリアルデザイン
インダストリアルデザイナー。GK グループにてトランスポーテーションデザインを中心に、成田エクスプレス、JR 東日本を担当。

presentation 5

公共交通の車両ドアのインフォメーションデザイン
Different solutions for door openers on public transport vehicles.

公共交通の車両ドアの開閉方法は車種により様々です。直感的にわかりやすくするために情報伝達について、ピクトグラムやテキストによる効果的な解決方法を探求します。

Olaf Hoffmann / ドイツ

独ミュンヘンにてプロダクトデザイン、CI 計画とコミュニケーションデザインを主業務とするオラフ・ホフマン・デザインを経営。IID 会員。

presentation 6

外国語自動放送システム

JR 東日本では、海外からのお客さまへの案内の充実を図るため、「外国語自動放送システム」の整備を進めています。このシステムのデモをご覧いただき、システム概要及び運用状況などを紹介いたします

伊藤俊 / 株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所

「外国語自動放送システム」の整備業務のほか、「時刻表作成支援システム」による時刻表作成業務などに携わる。

presentation 7

ウイーン・マリアヒルファー通りのモビリティデザイン
Re-designing Mariahilfer Straße

マリアヒルファー通りはウイーン中心部の商業エリアです。世界中から多くの人々が訪れる当エリアの、車と歩行者の共存を目的としたモビリティーの再編成と、地図を中心とした情報システムを発表します。

Martin Foessleitner / オーストリア

日本のデジタルイメージ会社の東欧マネージメント、オーストリアのマーケティングディレクターを経験。専門はプランディングと地域計画。IID 役員。

presentation 8

Bosch Tassimo のインターフェイスデザイン
The joy of unpacking. The fun of using.
The simplicity of reduction.

パッケージを開く時の喜び、使う時の楽しさ等、ボッシュのドリンクメーカー TAS12 を例に、ピクトグラムやイラストを中心とした、楽しく、直感的なインターフェースデザインについて発表します。

Wolfgang Peghini / ドイツ

家具、自動車等のデザインを経て現在はオラフ・ホフマン・デザインのメンバー。人間中心のデザインで、コンセプトデザイン、マニュアルなどを広く手がけています。

お問い合わせ、申し込み（別紙）

フォーラムに参加ご希望の方は下記の SDA 事務局へ
ファックスまたは e-mail にてご連絡ください。
なお会場の都合により入場者数に限りがありますので、
お早めに申し込みをお願いします。

公益社団法人日本サインデザイン協会 事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-25-11 池田ビル 2F
fax: 03-3818-1291 mail: sda@sign.or.jp



Traffic & Transport Information Design



SDA 国際デザインフォーラム 交通モビリティーと情報のデザイン

参加申込 / フォーラム：2,000 円・懇親会：3,000 円 要チェック

氏名 -1 フォーラム・懇親会

氏名 -2 フォーラム・懇親会

氏名 -3 フォーラム・懇親会

会社名

電話 +E メール

*E メールアドレスは受付完了後、確認メールを送信いたしますので必ずご記入ください。

● 申込から受付け完了までの流れ

- ・ 申込書の送信 「メールまたは FAX」
↓
- ・ 参加費の振込 *振込の締め切り：10月4日（金）
↓
- ・ 入金確認後、受付番号をメールにて送信
↓
- ・ 会場にて受付番号をご提示願います

● 請求書がご必要の場合は送付いたします 右の□にチェックください 請求書 要□

● 領収書がご必要の場合は会場にてお渡しします 右の□にチェックください 領収書 要□

●振込先：りそな銀行 本郷支店 普通：1562148 公益社団法人日本サインデザイン協会

*振込手数料は参加者様ご負担でお願いいたします

連絡先：公益社団法人日本サインデザイン協会

東京都文京区本郷 3-25-11-2F

TEL-03-3818-8537 FAX-03-3818-1291 mail - sda@sign.or.jp